



住みよい町づくりへ
議会と住民をつなぐ

第**41**号
平成21年4月15日

河津町議会だより



最新式オール電化・ドライ方式による学校給食センターの調理風景

主な内容

- 第1回定例会…………… 2 P
- 予算審査特別委員会、臨時会…………… 3 P
- 町長の施政方針…………… 4～5 P
- 議案説明…………… 6～7 P
- 一般質問…………… 8～10 P
- 一部事務組合議会…………… 11 P
- 議会の動き、私も一言、編集後記…………… 12 P

平成21年 第1回定例会 (要旨)

3月10日より18日まで9日間の会期で開かれた第1回定例会は、町長の施政方針と行政報告につづき、3名が一般質問を行いました。議会は人事案件2件、平成21年度予算10議案、20年度補正予算8議案、条例の制定、改正4議案、指定管理者の指定3議案、規約の変更3議案、町道路線の廃止1議案、その他1議案の32議案を審議し、原案可決、承認しました。なお、21年度予算は予算審査特別委員会で審議され、5項目の意見を附帯しました。

可決された平成21年度予算 (単位：千円)

○一般会計予算	3,662,000
○河津駅前広場整備事業特別会計予算	4,973
○河津町土地取得特別会計予算	555
○河津町国民健康保険特別会計予算	1,252,411
○河津町老人保健特別会計予算	23,358
○河津町介護保険特別会計予算	671,100
○河津町後期高齢者医療特別会計予算	95,441
○河津町国民宿舎「かわづ」運営事業特別会計予算	9,983
○河津町水道事業会計予算	252,810
○河津町温泉事業会計予算	263,912

可決した20年度補正予算

○一般会計補正予算 (第8号)

歳入歳出 193,199千円追加
総額 4,453,459千円

○土地取得特別会計補正予算 (第1号)

歳入歳出 14千円追加
総額 530千円

○国民健康保険特別会計補正予算 (第4号)

歳入歳出 24,640千円追加
総額 1,285,171千円

○老人保健特別会計補正予算 (第3号)

歳入歳出 35,014千円減額
総額 102,264千円

○介護保険特別会計補正予算 (第3号)

歳入歳出 7,769千円追加
総額 669,696千円

○国民宿舎「かわづ」運営事業特別会計補正予算 (第3号)

歳入歳出 999千円減額
総額 8,281千円

○水道事業会計補正予算 (第4号)

収益的収入支出 7,400千円追加
収益的総額 193,874千円
資本的収入 11,600千円減額
資本的収入総額 35,200千円
資本的支出 16,268千円減額
資本的支出総額 91,366千円

○温泉事業会計補正予算 (第2号)

収益的支出 0千円補正
収益的支出総額 122,750千円

発議

地方自治法第99条の規定による関係行政庁に対する意見書

- 伊豆中央道及び修善寺道路の無料化を求める意見書
- 「地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の延長に関する意見書

予算審査特別委員会

予算審査特別委員会は平成21年度予算10件について、12日、13日、16日、17日と4日間審査にあたりました。



予算審査特別委員会

委員長.....萩原清男

委員.....吉田重好、稲葉静、宮崎啓次、山田勇
相馬宏行、土屋桑太郎、山本和之
中村聡、飯田正臣、臼井市太郎

予算審査特別委員会の意見

1. 職員の定員管理計画について適正な配置をする事。
2. 地産地消を推し進め地域活性化を図られたい。
3. 観光交流館建設事業については、事前に管理運営及び建設計画を議会に諮り、承諾を得ること。
4. 役場から笹原までの間の道路整備について、早期実現のため調査等を実施されたい。
5. 町内の有形・無形文化財の補助金を含め、保存・活用につき前向きに見直しをされたい。

平成21年河津町議会

第1回臨時会

1月20日に開かれた第1回臨時会は以下の議案を可決しました。

- ・議案第1号 河津町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- ・議案第2号 河津町観光施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- ・議案第3号 峰温泉大噴湯公園の指定管理者の指定について

- ・議案第4号 平成20年度峰温泉大噴湯公園整備工事変更請負契約について
- ・議案第5号 平成20年度河津町一般会計補正予算(第6号)

第2回臨時会

2月19日に開かれた第2回臨時会は以下の議案を可決しました。

- ・議案第6号 平成20年度河津町一般会計補正予算(第7号)

町長の施政方針及び行政報告 (抜粋)



施政方針

平成21年度当初予算

一般会計当初予算は、36億6,200万円で、前年比3億5,500万円、8.8%減。厳しい財政状況の中、将来に向けた基盤整備を図り、合併期日まで着実な事業執行を図る堅実予算。

歳入は、町税前年比0.9%の微減。自主財源全体2億8,282万円16.8%減。依存財源全体では、7,218万円、前年比3.1%減。地方交付税は前年並。県支出金は観光施設整備事業の増加で前年比19.4%増。町債は普通事業総額の減少で前年比15.9%減。

歳出は義務的経費8,666万1,000円前年比5.8%減。経常経費は4,810万4,000円前年比1.7%減。投資的経費全体は大型事業終了で2億1,627万円前年比27.5%減となる。

普通建設事業は、(仮称)「観光交流館」の整備。道路基盤整備事業は、町道奥原1号線と町道荻ノ入2号線拡幅改良、継続的道路不良箇所の補修。消防、防災基盤整備事業は、消防ポンプ自動車購入を、国の補正予算の事業を活用して前倒しし20年度補正で対応。福祉関連事業は利用者の希望に沿ったサービスの提供で自立と社会参加を支援。教育施策では、学校と家庭をパソコンと携帯電話等の活用で、

「こども安全連絡網推進事業」への助成と中学校の給水管の布設替事業等。

◆平成21年度主な事業

総務関係事業

平成20年度退職予定者11名、新規採用職員6名で5名削減。自主運行バスと町営バスは乗車が極端に少ない部分の見直し。「寿回数券」の購入該当者証明書、購入申込書の受付が電話で可。

窓口税務課関連事業

戸籍の電算化事業は本年11月に現在戸籍関係の稼働、平成23年3月除籍関係の稼働を。

保健福祉課関係事業

介護保険事業計画は、3年ごとの見直しで、平成21年度を初年度とし平成23年度を目標年度とする「第4期介護保険事業計画、第5次高齢者保健福祉計画」の策定最終調整。介護給付費は今後増加が見込まれるため、介護予防事業に重点的に取り組む。

妊婦健康診査は、5回目以降14回まで国の財政措置され平成21年度より公費負担。

産業振興課関係事業

漁業関係は、「第56回静岡県鮎友釣選手権大会」が河津川で7月5日開催。

観光施設整備事業は、3月末に完了する(仮称)「観光交流館」の実施設計に基づき整備。

観光振興事業は、ウォーキングイベントの3大会実施。天城もみじまつりは、七滝をメインで実施予定。観光イベント事業支援補助金は幅広い団体の積極的活用を。

観光宣伝事業は、東京都渋谷区との連携、伊豆南部4市町共同宣伝事業、伊豆急と首都

圏共同宣伝、町内宿泊施設との連携によるマスメディアの広告宣伝。

国際交流は、今年6月、パリ市バガテル公園の国際パルクールに合わせ一般町民10人を公募し参加。

建設課関係事業

農林関係事業は、県営事業での中山間地域整備事業で見高入谷地区、上佐ヶ野地区の活性化を図る。

道路改良事業関係は、町道奥原1号線拡幅工事国道414号から約62m改良工事で年末完了。町道荻ノ入2号線改良工事は初景橋から270m区間狭隘箇所の改良で今年度用地取得、来年度から本工事予定。

県営事業で農業関係事業の農免道路見高稲取4期地区は、平成21年度事業費1億3,660万円で580mを施工、路線延長970m全線開通の予定。治山事業は、奥原地区寺ノ向の山腹崩壊復旧事業を450万円で施工。奥地保安林保全緊急対策事業で梨本地区登尾の本数調整伐、

曲沢、奥ノ入の荒廃山林事業で100万円。土木関係は、緊急地方道道路改築事業で上峰、沢田、田中地区のバイパス948mのうち235mは完成、来年度は、橋梁上部工55.7mを除く道路延長657.3m新設。橋梁上部工は、平成22年度着工、平成23年度未完了計画。新設県道河津・下田線は、伊豆地域振興対策道路整備事業で全体計画延長3,440mを縄地・下田落合間で整備中。河川事業は、河津川の堤防安全管理と水に親しむ環境づくりのため河津中学校付近と豊泉園地付近に階段護岸を新設予定。

水道事業は、簡易水道を上水道事業に統合で、奥原地区に調圧槽を兼ねた250t配水池を建築し、川横地区慈眼院上の配水池約1km間に送水管と配水管の新設予定。

温泉事業は施設総合診断の結果、1億5,000万円で浜地区350t貯湯槽改修のため30t仮設タンクを設置し、給湯しながらFRP製350tタンクを新設。第2期温泉供給事業に向け資金計画を検討。

教育委員会関係事業

平成20年3月幼、小学、中学の学習指導要領改訂により、音楽で和楽器使用、小学校の外国語活動を行う予算計上。

子供安全連絡網推進事業として、幼、小中学校から保護者宛にあらかじめ登録した連絡先に緊急一斉連絡するシステムを導入し、保護者負担分の2分の1を町が負担。国民文化祭は平成21年静岡県が会場となる。11月1日、2日の2日間、河津バガテル公園で「フランス民族舞踊と伊豆の伝統芸能の祭典」を開催。

行政報告

南伊豆地区1市3町合併

3月4日の10回目の協議会で26項目の協定項目は残り4項目となる。4月予定の協議会で協定項目の再確認を行う。協議が整った時期を見て住民説明会を開催して理解を得る。

定額給付金事業

4月上旬各世帯申請書類送付、4月中旬申請受付、給付開始予定。給付対象者は、8,318人給付額1億3,106万4,000円予定で、18才以下1,229人、65才以上2,677人、19才～64才まで4,412人。

地域防災計画

「静岡県防災計画」見直しで「河津町地域防災計画」を現在

修正作業中。

消防関係事業

2月5日消防ポンプ自動車を1,774万5,000円で(株)島山ポンプ製作所より購入、第4分団へ配備。消防庁長官定例表彰で河津町消防団が表彰旗を受章。

子育て応援特別手当

国の「生活対策」で、小学校就学前3年間に属する3才から5才の児童で、第2子以降の児童につき一人3万6,000円を支給。

わかば保育園耐震化

園舎の耐震化工事を実施し、2月19日に完了検査修了。耐震化にかかる経費を補助。

共立湊病院

第三者機関の共立湊病院改革推進委員会を設置し答申を受ける。新築移転候補地は旧下田南高校跡地、婦人科を含め7科目病床150床、平成23年3月までに竣工など。組合としては、感染症病床を含め154床、建設地旧下田南高校跡地を買収移転新築予定、設計施工をプロポーザル方式、経営形態は指定管理者を公募し平成23年4月1日開院を目指す。

伊豆見高入谷高原温泉宿泊棟1月7日2,880万6,750円で(株)大塩組が落札契約。床面積103.53㎡で見高入谷区が指定管理者。

(仮称)観光交流館整備事業

新年度建設を目指す。施設規模木造二階建764㎡で、観光インフォメーション機能と地場産品販売を中心。

峰温泉大噴湯公園整備事業

2月1日オープンし桜まつり期間1ヶ月の入園者28,895人。河津桜植樹帯整備事業河津桜27本、河津正月桜6本を浜135号線と笹原地内植栽。河津桜ツーデーマーチ

第11回目の大会で初日暴風雨だが844人、2日目晴天で998人の

参加で昨年比18%増。

第19回河津桜まつり

昨年より10日以上開花が早いため人出が伸び悩む結果。今回も100万人突破が見込まれる。河津桜まつり露天営業管理条例の改正を検討。河津川における河津桜維持管理指針を策定し適正な維持管理に努める。

経済対策

プレミアム桜ちゃん商品券利用は5,500万円分は1月20日で完売。河津町PR目的の「河津町ふるさと名刺」発行事業は現在79名の申し込み。

水道事業

泉奥原簡易水道事業と東海自動車今井浜分譲地簡易水道事業が上水道事業に統合され、新規加入58戸の増加。農免道路4期地区農道開設工事に併せ、水道管布設工事2件の入札を実施した。第1工区見高入谷地区で190mを756万円でヤマト設備工業(株)が、第2工区長野地区は90mを260万4,000円で東海建設(株)が落札、それぞれ契約。

温泉事業

給湯収益は大口加入者の減口と新規加入者の減少で大幅に下回る見込み。峰2号源泉用地及び利権の一部4%取得し、合計81%の利権を取得。

学校給食センター事業

2月20日に落成式を行い、3月2日から新調理方式による調理員の実習を行っている。3月13日小学校、中学校に試食を兼ね給食を実施。

南小学校給食配膳室改修工事東海建設(株)が552万9,000円で契約。

河津中学校給水管布設替工事及び旧学校給食センター解体工事

国の「地域活性化・生活対策臨時交付金」の対象事業で実施。

委員の選任・条例の制定・一部改正・補正予算・当初予算

- ◎同意第1号
固定資産評価審査委員の選任について
下佐ヶ野301の2
稲本徳正（3期目）
生年月日 昭和17年11月17日
- ◎同意第2号
監査委員の選任について
谷津131の8
板垣光彦（新任）
生年月日 昭和11年11月19日
- ◎議案第7号
河津町介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定について
介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定
- ◎議案第8号
河津町介護保険条例の一部を改正する条例について
介護保険年度と額の改正
- ◎議案第9号
河津町温泉宅配事業の管理運営及び使用料に関する条例の一部を改正する条例について
温泉宅配事業の使用料金を改正する条例について
- ◎議案第10号
河津町立学校給食センター設置条例の一部を改正する条例について
新給食センターの完成により住所の改正

- ◎議案第11号
河津バガテル公園の指定管理者の指定について
期限切れによる3年間の更新
- ◎議案第12号
国民宿舎「かわづ」の指定管理者の指定について
期限切れによる3年間の更新
- ◎議案第13号
七滝観光センターの指定管理者の指定について
期限切れによる3年間の更新
- ◎議案第14号
静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について
田方地区交通災害共済組合及び桃沢少年自然の家の解散のため
- ◎議案第15号
静岡県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について
由比町、富士川町、大井川町、岡部町の合併による数の減少
- ◎議案第16号
静岡地方税滞納整理機構を組織する地方公共団体の数の減少について
由比町、富士川町、大井川町、岡部町の合併による数の減少

- ◎議案第17号
町道路線の廃止について
町道梨本大又タ線の廃止
- ◎議案第18号
財政調整基金の取崩しについて
財政調整基金から90,000千円を一般会計に繰出し、費消する。
- ◎議案第19号
平成20年度河津町一般会計補正予算（第8号）
歳入歳出それぞれ193,199千円追加し、歳入歳出それぞれ4,453,459千円とする。
- ◎議案第20号
平成20年度河津町土地取得特別会計補正予算（第1号）
歳入歳出それぞれ14千円追加し、歳入歳出それぞれ530千円とする。
- ◎議案第21号
平成20年度河津町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
歳入歳出それぞれ24,640千円追加し、歳入歳出それぞれ1,285,171千円とする。
- ◎議案第22号
平成20年度河津町老人保健特別会計補正予算（第3号）
歳入歳出それぞれ35,014千円減額し、歳入歳出それぞれ102,264千円とする。
- ◎議案第23号
平成20年度河津町介護保険特別会計補正予算（第3号）
歳入歳出それぞれ7,769千円追加し、歳入歳出それぞれ669,696千円とする。
- ◎議案第24号
平成20年度河津町国民宿舎「かわづ」運営事業特別会計補正予算（第3号）
歳入歳出それぞれ999千円減額し、歳入歳出それぞれ8,281千円とする。



道路整備事業奥原1号線（入口）

- ◎議案第25号
平成20年度河津町水道事業会計補正予算（第4号）
収益的収入支出7,400千円補正予定。資本的収入及び支出11,600千円減額し、支出16,268千円減額補正予定
- ◎議案第26号
平成20年度河津町温泉事業会計補正予算（第2号）
収益的収入及び支出の予算第8条第1号の職員給与費7,530千円を7,649千円に改める。
- ◎議案第27号
平成21年度河津町一般会計予算
- ◎議案第28号
平成21年度河津町駅前広場整備事業特別会計予算
- ◎議案第29号
平成21年度河津町土地取得特別会計予算
- ◎議案第31号
平成21年度河津町老人保健特別会計予算

- ◎議案第32号
平成21年度河津町介護保険特別会計予算
- ◎議案第33号
平成21年度河津町後期高齢者医療特別会計予算
- ◎議案第34号
平成21年度河津町国民宿舎「かわづ」運営事業特別会計予算
- ◎議案第35号
平成21年度河津町水道事業会計予算
- ◎議案第36号
平成21年度河津町温泉事業会計予算



- ◎議案第30号
平成21年度河津町国民健康保険特別会計予算
予算の概要（抜粋）

注 予算書の抜粋であるため、各合計は一致しない。単位：千円

款	本年度予算額	前年度予算額	比較	備考
1 国民健康保険税	308,206	311,448	△ 3,242	後期高齢者医療制度創設による被保険者の減
5 国庫支出金	343,118	332,752	10,366	前期高齢者制度による算定額調整の減
6 療養給付費交付金	24,302	80,724	△ 56,422	後期高齢者医療制度創設による支出先の変更による減 老人保健（町）→後期高齢者医療制度（県広域連合）
7 前期高齢者交付金	247,978	181,190	66,788	法改正による新たな交付金
歳入合計	1,252,411	1,210,805	41,606	

●歳出

款	本年度予算額	前年度予算額	比較	備考
2 保険給付費	860,087	824,127	35,960	
3 後期高齢者支援金	147,642	136,483	11,159	後期高齢者医療制度による新たな科目（11月分）
4 前期高齢者納付金	454	43	411	法改正による新たな支出
5 老人保健拠出金	12	12,124	△ 12,112	後期高齢者医療制度により将来廃止（1月分）
8 保険事業費	10,380	9,797	583	生活習慣病健診義務付けによる支出の増額
歳出合計	1,252,411	1,210,805	41,606	

上記平成21年度予算は予算審査特別委員会で審議、本会議可決される。

主な平成21年度
新規事業と予算

観光施設整備事業
（観光交流館）
..... 240,670千円

町道奥原1号線道路拡幅工事
.....57,300千円
町道荻ノ入2号線道路拡幅工事補償費
.....16,500千円
町道荻ノ入2号線道路拡幅工事用地購入費
.....16,000千円
鉄道施設総合安全対策事業補助金（伊豆急谷津トンネル）
..... 833千円
河津バガテル公園町民利用負担金
..... 1,520千円
自主運行バス補助金
.....26,723千円
浄化槽設置事業補助金
.....32,536千円
農免道路見高稲取4期工事負担金
.....24,475千円
県内水面漁協鮎釣河津川大会事業費補助金
..... 3,000千円
伊豆急河津駅UD施設整備事業費補助金
.....80,000千円
田中バイパス水道管新設工事
.....10,000千円
農免農道水道管新設工事
.....22,500千円
川横地区水道管新設工事
.....10,000千円
浜配湯槽改築工事
..... 145,000千円
伊豆つくし会補助金
..... 8,731千円
下田地区消防組合負担金
..... 151,779千円
広域連合特別会計負担金
..... 5,503千円
後期高齢者医療費負担金
.....75,643千円
後期高齢者医療特別会計負担金
.....19,893千円

一般質問

地域経済活性化 企業誘致の考えはあるか

町長—大変良いことだが相手のあること

質問...河津町の基幹産業は観光に違いないが、地域が健全に発展して行くには、産業の柱が複数あった方が安定する。河津町のこれからについて、観光オンリーでいくのか、それともIT関連、ソフト関連などの企業を誘致する考えがあるか伺う。

町長...IT関連の企業誘致については、河津町にとっても大変いい事だと思うが、相手のあることなので、今後とも関心を持って環境、土地、インフラ整備などを進め、チャンスがあれば取り組んで行きたい。

質問...相手があるというが、向こうから来るのを待っていたのでは、話は進まない。企業誘致はプロジェクトチームをつくって強力に進めるのがよい。更にこの事業を進めるには、河津会の皆さんの力を借りるのが良いと思う。河津会の皆さんも河津のために何か役に立ちたいと言って下さっている。町の方から積極的にお願ひして、話を進めたらどうか。

町長...この点については、県も東京に出先機関を置いて、企業誘致を図っている。県との連絡を密にして進めていきたい。河津会との関係は、交流的には大変良い関係にあるが、企業誘致

など、そういう大きなところまではいっていない。今後共、情報交換などの取組みを図っていきたい。

質問...新規事業として、観光交流館の建設があるが、この事業が成功するかどうかは、地場産品コーナーがうまく行くかどうにかかっている。稲取青果市場も昨秋からJA伊豆太陽の経営になった。町と農協が今まで以上に、連携を強化し、地場産品の生産に力を入れるべきと思うが。

町長...地産地消の推進は農協が

教育行政 ケイタイによるいじめなどは、少子化で複式学級の心配はないか

教育長—いじめなどは、発生していない、複式学級は心配の状況ではあるが

質問...全国では子供による、ケイタイでのいじめや犯罪が多く発生しているようだが、その様な事はないか。又、町内の子供たちのケイタイの所持率はどれほどか。

教育長...ケイタイによる犯罪、もしくはいじめなどは聞いていない。所持率については5~6年生で6人、中学生では3年生が73%、全体で54%である。

質問...N T Tのこども安全連絡網というのがあって、連絡網としてだけでなく、安全対策面からも、大変優れており町内の各学校では既にP T Aが導入



山田 勇 議員

みんなをリードして行く事が理想だ。我々も農業経営振興会を中心に農業政策を進めている。これからも農協のリードで、それにみんなが協力して、休耕田の活用など地場産品の生産を進めていきたい。

して、町でも新年度予算で、事業費の半額を助成するそうだが、その様な良い事業なら、半額とわず全額補助したらどうか。町長...100%との要望もあったが、自分の子供に対して、自分も責任を持つという意識が大事と思っている。

質問...子供の数が年々少なくなり、複式学級が心配されるが、見通しはどうか。又、複式学級は何人以下からか、それはどのような内容の学級か。

教育長...国の決まりでは16名、静岡県は15名を下回った場合、14名から複式学級になる。25年の東小の2~3年生が15名で、きつい状況にある。複式学級とは、後ろと前に黒板があり、例えば3年生が後ろ向き、2年生が前向きで1人の先生が教える。交替でどちらかの学級が自習をやるのが一般的である。



下校の安全を確認し、声をかける「こども見守り隊員」

新年度の予算編成は

町長—36億6,200万円を計上

質問1...予算の特徴と、地域の要望をどう取り入れたか。

質問2...町の直接事業赤字と事業をどう取組むのか。

質問3...開かれた町づくりのため、町出者の各種委員会への委員の委嘱やUターン希望者の職員への採用は。

町長...財政の厳しい中、36億6,200万円計上した。委員の委嘱には、町民の意見を聞き事業を進めている。Uターンの職員採用は考えていない。

総務課長...地域の要望は防犯灯他、建設関係を含め4,000万円を原材料支給で計上した。

質問...厳しい財政状況との事だが、国、県の補助金が少ないのでは。各種委員会や職員採用は、幅広い角度の行政が出来るのではないか。観光交流館の建設地はアクセス道路が厳しい。建設は時期が早いのでは。農業振興も生産出荷計画を誰が中心になるのか、又、風土の森売店などの競合をどうするのか。子育て支援特別手当の支給対象者への周知は。学校入学時の制服購入の父兄の負担はどれほどか。

町長...国、県の補助の減少は箱物行政が出来上がっているためである。観光交流館建設は中止より町へ金が落ちる事が大事だ。



暖冬で今年の河津桜は1週間程早く満開に。

町の赤字事業は温泉水道事業に跳ね返り、雇用の拡大にも繋がっている。

産業振興課長...交流館は地場産品販売推進委員会を設置する。教育委員会局長...入学時の制服等の購入費は幼16,000円、小19,000円、中75,000円から85,000円である。

保健福祉課長...子育て支援特別手当は、子供2人以上で3~5歳の間で1人36,000円、88世帯に戸別に通知を出す予定である。

質問...国の補助事業を県代で行って実施しているとの事だが、財政厳しい中、補助金を取入れ自主

活性化対策について

町長—観光入込み客が増せば活性化になる

質問1...経済不況の実態をどう考えるか、その対策は。

質問2...桜ちゃん商品券の効果は。

質問3...町内にある撤退した企業の保養所を使い、誘客対策と合わせ、町出身者への宿泊サービスを低料金で考えてはどうか。

質問4...桜祭りの反省点と、経済効果は。正月桜、河津桜、遅咲き桜とシーズンを長くする工夫は。葉桜でも駐車料金をとるのはどうかと思うが、河津川の



土屋桑太郎 議員

財源の負担を減らす方が大切だ。入学時には無利子の貸付や補助制度を考えてはどうか。

町長...国県の補助事業は積極的に取入れたい。入学児童の補助金については義務教育であり、子供の仕度は個人問題で補助金は出せない。

空間、湯ヶ野、筏場地域への適地植栽は。

町長...まつりに100万人訪れて経済も伊豆半島の活性化になっている。遅咲きの開発も進めている。秋の紅葉も大切でもみじを売り出す拠点作りも必要だ。

産業振興課長...さくら商品券は55%換金された。不景気対策は商工会を通じ1年間イベントを組むなどの検討をしている。桜まつり経済効果は平成12年度調査で県下300億円と試算された。

町長...河津会には割引があるが、今後紹介者へのお礼を考える。質問...商品券を補助金で対応したが、再度町単独で投資したらどうか。商業、農業振興にも予算の増額。子育て支援事業の新設などをしたらどうか。

町長...活性化には交流人口を増やす事だ。客が来て金が落ち、地域の商店も1次産業も潤い相乗効果となって発展してゆく。

合併協議の予算、 一つの議会でも否決されたら？

町長一再議にかけて、6月まで進める

質問...法定合併協議会において、電算システムの調査費の予算については松崎町議会、南伊豆町議会において否決された。今回各市町議会で新年度合併協議会の事務的予算が審議されるが、一つの議会でも否決された場合協議は続けるのか。

町長...再議にかけて、5、6月まで進める。廃置分合が否決されると、合併は出来ない。

質問...他市町の公共施設の耐震化率は。地域自治組織の共通事業費と、地域事業費の配分額、割合についてどう考えるか。

町長...地域自治組織についてはお互いに歩み寄ったとご理解願いたい。

総務課長...19年度の耐震化率は

下田市41.2%、河津町79.7%、南伊豆町81.6%、松崎町58.1%となっている。

質問...公共施設の耐震化は平成27年度までに完了させなければならぬ。しかし、いくらかかるのかを含め耐震化の資料が示されていない。合併すると投資的経費が耐震化に重点的に執行されることになるが、配分割合は担保されるのか。同じ新市の市民として、配分額で維持出来ない自治体を助けなければならぬと考える。新市の議会で審議されるのだが。

町長...担保される。耐震化は配分された事業費の枠内でやっていただきたい。



第10回法定合併協議会（松崎町）

露店営業管理条例の 改正の考えは

町長一警察と連絡をとり、 健全な露店条例をつ くっていく

質問...さくら祭り全体の状況は。期間中の指定区域内のパトロール、及び露店等の営業届の出店現場での確認作業はしているか。

産業振興課長...駐車場の利用については収入が昨年対比81.75%程度、580万円程度の減少、決算で4,600万円程度になる。後半葉桜になり峰の大噴湯公園やカーネーション見本園、七滝に誘導している。パトロールは初日に出店部会を中心に回り、指定の出店の看板等の確認をしているが、おおむね良好。苦情があると現地に行って指導している。



宮崎啓次 議員

質問...露店営業管理条例を刑事課と協議しながら、速やかに改正出来ないか。この大きなイベントのある町、健全なまちづくりの為、暴力追放運動を積極的にやる気持ちはあるか。

町長...管理条例は警察と連絡をとりあって、健全な露店条例をつくっていく。

河津バガテル公園の 経営状況は

町長一施設使用料 2,200万円減免で 1,000万円黒字

質問...平成19年度決算は経常損失4,011万円弱、累積による繰越損失額6,516万円弱と非常に厳しい状況にあるが、20年度の状況はどうか。今後も継続して施設使用料を減免しなければ経営が成り立たないのか。

町長...平成20年度は施設使用料2,200万円を免除していただき、1,000万円の黒字にできるかと思う。21年度は5、6月が天候に恵まれればいい方向に立ち上がると思う。

質問...昨年9月議会でゼネラルマネージャーを関連企業と相談しながら進めたいとの答弁だが、副町長は本来の行政の仕事がある。人選は進んでいるか。

町長...今後、取締役会等で伊豆急、東海バス、色々意見を総合した中で対応を考える。

一部事務組合の定例議会報告及び視察研修報告

下田地区消防組合議会

2月27日に定例会が開かれた。当町相馬議員の議長就任にともない、中村議員の消防組合議員の紹介と、議席の指定が行われた。平成20年8月1日から平成21年1月31日までの事業報告では、火災発生が12件で下田市4件、河津町1件、南伊豆町7件、救急事案発生地区件数は下田市805件、河津町269件、南伊豆町324件（内66件は共立湊病院から転院搬送）ドクターヘリの運航状況は前年同期と比べ20件減の61件である。議案については、平成20年度補正予算（第3号）は歳入歳出28,460千円を追加し、総額723,894千円とする。平成21年度予算は歳入歳出それぞれ814,492千円とし、前年度より66,940千円増額となった。

東河環境センター議会

2月20日、東河環境センター議会が開かれた。議案第1号では、静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約変更について、議案第2号では、平成20年度東河環境センター会計補正予算（第2号）について、議案第3号では、平成21年度東河環境センター会計予算について、それぞれ審議し、原案可決承認した。

平成21年度東河環境センター会計予算については、歳入歳出とも660,387千円、この内管理費等を除く直接し尿処理にかかる経費が41,956千円、じん芥処理にかかる経費が247,381千円。河津町の負担額は、し尿処理分25,102千円、じん芥処理分が

198,407千円、合計223,509千円である。

共立湊病院組合議会 視察研修報告

平成21年1月22日から1月23日まで福島県三春町立病院、茨城県常陸大宮市の済生会病院の研修視察を行った。

町立三春病院について建設方式はプロポーザル方式（設計・施工一括発注）で建設し、坪単価60万円は安っぽさを感じることは全く無かった。また、工期等が提案による「1年4ヶ月の短期間」で完成した病院である。共立湊病院組合は23年3月を目標に新病院を建設するという「答申」や、運営会議・全員協議会での合意と残された期間を勘案するとプロポーザル方式による病院建設しか方法は残されていないと考える。

次に常陸大宮済生会病院は建設について、地域と県を上げての取り組みが、済生会と自治医科大学を動かした。

茨城県は、人口当たりの医師数が全国最下位であり、その中でも病院が建設された県西部は医療過疎地域であった。

この地域では、周辺市町村が

総合病院誘致期成同盟を結成し済生会、県、県議会に総合病院の誘致を働き続けてきた。その結果、済生会を動かし、県の力もかりて自治医科大学の支援も取り付け、高度な手術にも対応できる病院が建設できた。

伊豆斎場組合議会

2月27日平成21年2月定例議会が下田市で開かれた。

行政報告と2つの議案が上程された。行政報告では、昭和54年に建設され30年程経過した中で火葬炉の補修を平成19年より行い平成22年までに耐火レンガの積かえを行う。又、斎場の耐震化計画については平成22年から調査し、平成27年実施計画との報告がされた。

議案1号で「静岡県総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約変更について」を承認。議案2号で「平成21年度伊豆斎場組合会計予算」歳入歳出それぞれ、38,331千円を承認可決した河津町の負担額は4,719千円である。又斎場建設基金の残高が、20年度見込で2,674千円と報告された。



常陸大宮済生会病院（茨城県常陸大宮市）

町議会議長の主な活動報告



相馬 宏行 議長

平成20年

- 12月15日 伊豆急河津駅前で交通安全街頭広報に参加
12月17日 南伊豆地区1市3町合併推進委員会小委員会(下田市) 富士山静岡空港就航促進協議会臨時総会(静岡市) 副議長出席
12月22日 河津町議会 1市3町合併打ち合わせ会
12月24日 南伊豆地区1市3町合併協議会(下田市)

平成21年

- 1月5日 河津町消防団出初式 南小グランドで議員と共に
1月8日 第24回国民文化祭河津町実行委員会(役場会議室)
1月11日 河津町成人式(中学校体育館) 議員と共に出席
1月14日 議会広報編集会議
1月15日 南伊豆地区1市3町合併協議会小委員会(下田市)
1月16日 河津町産業経済活性化連絡協議会賀詞交歓会、議員と共に(今井浜東急リゾート)
1月20日 伊豆市議会議長・副議長来町 河津町議会第1回臨時議会 議会全員協議会 河津町合併推進委員会
1月21日 南伊豆地区1市3町合

- 併協議会(南伊豆町)
1月22日 郡議長会(下田市)
1月26日 東伊豆町議会と議員交流会 議員と共に出席(河津町)
2月1日 峰温泉大噴湯公園オープンイベント 議員と共に出席
2月3日 岐阜県本巣市議会来町
2月4日 山形県中山町議会来町
2月6日 賀茂地域防災局長来町
2月7日 河津桜まつりオープンイベント 議員と共に出席
2月9日 神奈川県三浦市議会来町
2月12日 河津町合併推進委員会
2月13日 南伊豆地区1市3町合併協議会(河津町)

- 2月17日 静岡県町村議会議長会総会(静岡市)
2月19日 河津町議会第2回臨時会
2月20日 河津町学校給食センター落成式 議員と共に出席
2月25日 南伊豆地区1市3町市町長及び議長による調整会議、副議長と出席(河津町)
2月26日 河津町公共施設整備計画推進委員会 第一・第二委員長と出席
2月27日 河津駅前広場運営協議会、副議長と出席
3月3日 河津町合併推進委員会
3月4日 南伊豆地区1市3町合併協議会(松崎町)
3月5日 議会運営委員会

～私も一言～

趣味の刻字で!

昨年暮れに近い頃、慕う従兄を送り終え、かたづけの席上ある先輩が約200年前の見高若者中御錠目のメモを紹介した。文化財、見高にないなら俺が刻字、額を作ってくると酒の勢いで言ってしまった。(後、静岡県史記載判明)その後が大変、刻字作家酒仙先生に指導を受け1時間25字刻み、千を越す字数、失敗を重ねて1ヶ月余りやっと完成、年明仏前に報告、在住の方々の協力で残すことが出来た。

男子15歳若い衆組に入る儀式の祈りの憲法、行動規範取り決

め事が「御錠目」である。村の秩序、防犯災害防止、催事等、自主防衛組織で仲間入り寝泊り合宿制でした。(50年前組織解散)世知辛い近年ですが今に通じる「御錠目」組織と行動規範は貴重な文化であると思われます。過去現在、時が代り進んでも人の心変わらず、科学の進歩で豊かさの勘違いはなかるうか。心の豊かな文化、環境と経済、そんな未来を創造したいものです。

出産に帰り来し娘が重そうにどっこいしょと立ちふふと笑う。こんなほほえましい、平和な背景が何処にでも見られる街であるといいですね。

水戸市 島崎 進 (見高浜出身)

編集後記

3月27日、第11回の1市3町法定合併協議会が開かれた。松崎町、南伊豆町共に合併に厳しい状況である。平成の合併を検証した結果、総務省、地方制度調査会、全国町村会でも合併推進は取り止めにすべきとの方向である。我々も知恵を絞り単独のまちづくりを念頭におかなければならない。(宮崎)